

定型回答

No	分類	回答	はい	いいえ
Q1	【環境・体制整備】	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2
Q2		利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1
Q3		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3
Q4		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1
Q5		必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2
Q7	【業務改善】	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1
Q8		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0
Q9		職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1
Q10		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0
Q11		職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0
Q13		適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0
Q14		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	7	0

Q15	【適切な支援の提供】	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0
Q16		個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0
Q17		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0
Q18		個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0
Q19		活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0
Q20		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0
Q21		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0
Q22		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0
Q23		支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1
Q24		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0
Q25		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0

Q32		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0
Q27	【関係機関や保護者との連携】	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0
Q28		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1
Q29		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0
Q30		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0
Q31		（28～30は、センターのみ回答）地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0
Q33		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1
Q34		（31は、事業所のみ回答）地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1
Q35		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2
Q36		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0

Q37		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3
Q39	【保護者への説明等】	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0
Q40		個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0
Q41		「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	7	0
Q42		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0
Q43		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0
Q44		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0
Q45		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0
Q46		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0
Q47		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0
Q48		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5

Q50	【非常時等の対応】	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0
Q51		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0
Q52		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2
Q53		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2
Q54		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0
Q55		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0
Q56		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0
Q57		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0
Q58		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	7	0

自由回答

No	回答内容
Q6	【環境・体制整備】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	安全面が考慮されている。お子様に合わせて必要ないものはしまったり、また作ったり配置したりと工夫がされている。
-	【改善】 集団での利用人数や発達段階が異なる人数が多い場合にはスペースの狭さを感じる場面があります。

	→対応案：職員体制に問題がなければフィールドとスタジオで活動を分ける、室内で不要なものを減らすなど工夫をしていく
-	マットを全面に敷く、壁にマットを立てかけるなどで安全面を対応。
	→対応案：継続して安全に配慮した対応を行う
Q12	【業務改善】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	職員のためにも上司が研修を多く取り入れてくださっている。話し合う機会も多い。
-	職員研修の種類の豊富さは、適切に全職員が同じレベルと価値観で支援を提供出来るように工夫されており、とても良く働きやすい環境であると感じている。
-	【工夫】施設全体での研修だけでなく児発・放デイ別にも研修が開催されている
-	法人内で研修機会を設けており、自施設の運営に生かしている。
Q26	【適切な支援の提供】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	【工夫】発達アセスメントを基にディスカッションが行われているところ、集団では週ごとに活動を変えているところ、子どもの
-	各自のアセスメントを共有したり、日々の支援会議で適宜見直している。
Q38	【関係機関や保護者との連携】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	【改善】事業所同士、特定の幼稚園以外との連携が少ないところ
	→対応案：引き続き子ども部会等の場を活用しつつ、保護者からの要望に応じて利用児童所属園との連携も行っていく
-	幼稚園、保育園との共有は保護者の意向を聞いて行っている。
Q49	【保護者への説明等】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	【工夫】様々なSNSを活用して情報を発信しているところ、保護者から悩み提示あった際にはその場で話をしたり、時間を設け相談室で話をするなど迅速に対応しているところ
-	事業所の行事はないが、地域の行事には積極的に参加している。
Q59	【非常時等の対応】について工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点などございましたらご入力ください。
-	活動で使用する際は食物アレルギーのあるお子さんに対して医師ではなく保護者の同意を得ている。